

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。 **カシャ!!**
 情報交流課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



アジサイが咲き始めた大鐘家（取材時）

市の花アジサイ初夏を彩る

■大鐘家あじさい祭

国指定文化財の大鐘家（片浜区）に咲く市の花アジサイが、6月上旬から見頃を迎えました。

大鐘家の敷地内には、約1万2千株のアジサイが植えられています。毎年5月下旬から7月上旬にかけて、ヒメアジサイやベニガクアジサイなど35種類以上がピンクや紫、青色、白色など、色とりどりの花を咲かせます。

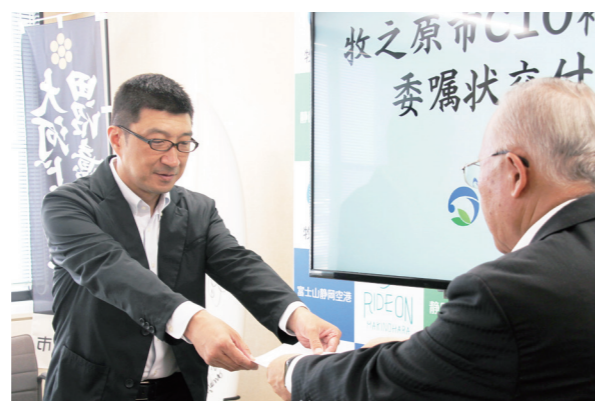
訪れた人は、アジサイの花をじっくり眺めたり、「きれいだね」と写真を撮影したりするなど、思い思いに市の花を楽しんでいました。

市民サービスの満足度向上へ向けて

■CIO補佐官就任

市は5月18日、デジタルを活用して業務改善や市民サービス向上などを行うDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、川口弘行氏に市の最高情報責任者（CIO）補佐官を委嘱しました。

川口氏は、これまで省庁や地方自治体におけるデジタル関連業務に携わってきました。CIOである副市長を補佐する立場として、業務のオンライン化推進や情報セキュリティに対する助言、DXに関する人材育成などに取り組んでいきます。



杉本市長から委嘱状を手渡される川口氏



相良こども園の園児にブロックの遊び方を教える生徒

将来の職業に希望膨らむ

■相良中学校職場体験

相良中学校2年生127人が、5月16日から18日までの3日間、相良地区内の33事業所で職場体験を行いました。

これは、働くことの意義や喜びを知り、将来の職業や自己の進路について真剣に考えてもらうこと、社会人としてのルールやマナーを身につけてもらうと例年実施されています。

体験を終えた生徒は、「今回の貴重な体験を今後の学校生活に役立てたい」、「幼稚園や学校の先生になりたいという夢が広がった」と話しました。

市の魅力を国内外に発信

■まきのはらシティプロモーションアドバイザー委嘱式

市は5月1日、市の魅力を効果的に発信することを目的にまきのはらシティプロモーションアドバイザー委嘱式を執り行いました。

アドバイザーは、アメリカオリンピック・パラリンピック元日本代表駐在員ジョン・オオモリ氏、2020東京五輪サーフィン競技女子金メダリスト「カリッサ・ムーア」選手のコーチ兼父のクリストファー・ムーア氏、東武トップツアーズ株式会社で全国の観光産業に精通する利重和彦氏の3人。今後、魅力発信の企画や助言などを行います。



アドバイザーのジョン氏、クリストファー氏、利重氏

平和の尊さを次世代に伝える

■牧之原市戦没者戦災死者追悼式

牧之原市戦没者戦災死者追悼式が5月30日、い〜らで執り行われました。

今年から、空襲などによる不運な戦禍に巻き込まれ犠牲となった一般の人々に対しても、改めて深く追悼の意を表すため、式典の名称に「戦災死者」を加え、「戦没者戦災死者追悼式」としました。

式典では、遺族会をはじめとする参加者や相良保育園の園児たちが祭壇に献花を行い、戦没者や戦災死者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。



追悼の言葉を述べる市遺族会の池田会長



杉本市長、加藤組の植田専務、内山土木事務所長

協力して道路をもっときれいに

■しずおかアダプトロードプログラム締結式

株式会社加藤組（静波区）、県島田土木事務所、本市は5月26日、しずおかアダプトロードプログラムの同意書締結式を執り行いました。

これは、道路利用者や事業者などに県管理の道路の一定区間について、清掃や美化活動、草花の維持管理などをしていただく制度です。

同社は市内で11番目、同事務所管内で40番目の締結団体で、国道150号のゴミ拾いや除草などを行います。今後も県と市は、事業者など三者で協力して道路美化活動に取り組めます。

静岡牧之原茶を山梨でPR

■「静岡牧之原茶」山梨県での新茶販売会

本市と藤枝市は、5月17日から23日まで、山梨県で新茶販売会を合同で行いました。

新茶時期に合わせ、茶の需要創出と販路拡大などを図るため、両市が連携して茶を販売したものの甲府市内の商業施設で開かれた販売会には、地元の人々が来場し、「独特の緑色が特徴で、コクと旨味があっておいしい」と深蒸し茶を堪能していました。17日には大石副市長が、21日には杉本市長が新茶を販売し、深蒸し茶と本市の魅力を山梨の地でPRしました。



来場者に深蒸し茶をPRする杉本市長



サーフスキーを使って沖の三角ブイ（浮標）を目指す参加者

実践のライフセービング技術を競う

■静岡サーフカーニバル2023 in 相良サンビーチ

静岡サーフカーニバルが5月7日、さがらサンビーチで開催されました。

ライフセーバーが救助活動の実践力向上やチーム力を高める目的で開催され、今年で6回目の開催。県内各地から集まったライフセーバー約60人が救助技術を基本とする競技に参加しました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、スイムやボード、パドルを使った種目ごとに沖合のブイを回って岸に戻るリレー競技が行われ、今年は救命艇を使った種目が初めて実施されました。